

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校 岡山情報ビジネス学院	昭和61年7月26日	学院長 神原 俊章	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人三友学園	昭和61年7月26日	理事長 野津 基弘	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル学科	平成21年文部科学省告示 第21号	-																							
学科の目的	サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、ホテル・ブライダルの業務に必要な専門知識を修得する。また演習を通して、思いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成する。																										
認定年月日	平成28年2月19日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1768時間	770時間	164時間	834時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
80人	89人	1人	3人	3人	6人																						
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はS、A、B、C、Dの5段階科目終了時に試験、レポート等で評価																							
長期休み	■夏季休業日:8月5日～9月1日 ■冬季休業日:12月23日～翌年2月16日 ■春季休業日:3月2日～3月15日		卒業・進級条件	次の項目を全て満たすこと ・必修35科目、総時間1768時間を履修すること ・出席率90%以上 ・科目の成績評価が全てC以上 ・WBW認定スリッパスターメンバー、ホテル実務技能認定試験初級のうちいずれか1つ																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等		課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭、ブラッシュアップ県内研修、ブラッシュアップ海外研修 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 就職先: 翠宝商事株式会社 錦屋グループ、株式会社日本セレモニー、株式会社平安、ビューサ株式会社、Bell tree株式会社、株式会社ミリアルリゾートホテルズ、株式会社星野リゾート、株式会社ホテルグランヴィア岡山、ANAクラウンプラザホテル岡山、株式会社倉敷国際ホテル 等 業界: ホテル・ブライダル業界 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。 ■卒業者数: 32人 ■就職希望者数: 31人 ■就職者数: 31人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 96.8% ■その他 (令和元年度卒業者に関する令和2年6月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等(令和元年度卒業者に関する令和2年6月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WBW認定ウエディング・スベジャリスト</td> <td>③</td> <td>35人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>WBW認定ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td>35人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>WBW認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>35人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>①</td> <td>30人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	WBW認定ウエディング・スベジャリスト	③	35人	35人	WBW認定ウエディングプランナー	③	35人	35人	WBW認定ドレスコーディネーター	③	35人	35人	ブライダルコーディネーター技能検定	①	30人	23人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
WBW認定ウエディング・スベジャリスト	③	35人	35人																								
WBW認定ウエディングプランナー	③	35人	35人																								
WBW認定ドレスコーディネーター	③	35人	35人																								
ブライダルコーディネーター技能検定	①	30人	23人																								
中途退学の現状	■中途退学者 6名 平成31年4月1日時点において、在学者 80名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者 74名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等		■中退率 8%																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ・OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ・後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: (有)無 給付対象、非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																										
当該学科のホームページURL	URL: <a href="https://www.oic-ok.ac.jp/course/hotel/">https://www.oic-ok.ac.jp/course/hotel/</a>																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針			
サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、お客様や自分の思いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成することを目標とする。また、一生に一度の結婚式、旅行の際のホテルの宿泊等お客様の特別な時間に携わるといふ高い意識を持った人材育成の為に、ホテル・結婚式場等を中心に教育内容に関するヒアリングを行い、カリキュラム・授業計画等に反映させる。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け			
ホテル・ブライダル業界における人材育成のために、ホテル・ブライダル業界関係者および岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受けカリキュラム等の開設・改善・工夫等を行う。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿			
令和2年6月1日現在			
名前	所属	任期	種別
榊原 俊章	専門学校 岡山情報ビジネス学院 学院長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
高岡 信吾	専門学校 岡山情報ビジネス学院 常務理事	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
難波 芳子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務第1課 課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
岩崎 千鶴	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務第1課・2課 課長補佐 ホテル・ブライダル学科 学科長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
羽原 俊秀	公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 常任理事	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
三宅 加代	翠宝商事(株) 常務取締役	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
近藤 正晃	株式会社ホテルグランヴィア岡山 総務人事課 課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
福圓 涼子	有限会社ル・クル ジャポニ ル・メルシエ 統括マネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期			
2回(例年の開催時期は、9月、1月) (開催日時) 第1回 令和元年8月29日 16:00～17:30 第2回 令和2年1月30日 16:00～17:30			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況			
<委員会意見より現在実施中項目> グローバル化がより一層すすんでいる。訪日外客の増加によって語学力も求められる。 ⇒英会話の科目は引き続き実施する。アジア圏からの訪日客が多いことから中国語を新たに科目として取り入れている。また、県外研修を海外研修に切り替え、異国の歴史・文化・習慣を体験させる環境を整備している。			
<委員会意見より具体的内容検討中項目> テーブルマナーを基にしたサービスマナーの知識、実践力が必要。 ⇒サービス業界のスタッフとしての知識、実技向上に向け、サービス接客検定の所得に加え、今年度よりマナー・プロトコル検定所得を目指し科目内容を変更している。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
地域内業界の中心となる企業において、県内外を問わず学生の受入れにあたり、ホテル・ブライダル業界スタッフとして様々な業務体験が出来るような企業を選定している。社会常識を身に付け、即戦力のスタッフとして何が必要で何を身に付けるべきなのかを体験し理解できる実習になるよう理解をしていただいている。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容			
授業科目の担当教員が実習内容の詳細について、企業側と受入確認および調整を行い、学生の学修成果指標について定める。実習期間中は、担当教員が企業を訪問し、学生の状況を確認するとともに実習担当者や情報交換を行う。実習終了時には、担当者が学生の学修成果の評価と実習レポートの評価を行い、総合評価を担当者が行う。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
ホテル・ブライダル実習	ホテルや結婚式場において、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に学習し、約1年間の授業を通して学んできたことを、実際の現場で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につけることを目的としている。実習内容は、基本的にはホテル・結婚式場の指示に従い、スタッフの方々の指導の下、実習を行う。	ホテルグランヴィア岡山、 翠宝商事株式会社 オリエンタルホテル神戸 等 全25社	

<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p>
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。</p>
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：一般社団法人日本宿泊産業マネジメント技能協会</li> <li>・日程：令和元年11月13日(水)</li> <li>・参加者：今城 直也</li> <li>・研修名：ホテル・マネジメント技能検定 実施説明会</li> </ul> <p>主催協会は厚生労働省の委託事業としてホテル業界の国家技能検定の取り組みを2016年より始めた。試行試験と自主的施工テストを行い2018年に指定試験期間として指定され確立した。2019年より検定を実施し、宿泊企業従事者としてのキャリア形成の里程碑、重要項目の把握、力量の客観的な計測。業界を目指す人にとってマネジメント基礎の習得、キャリア形成の里程碑を掲げることを目的としたものである。今後ホテル業界を目指す学生にとってより実践的な検定を選定するうえでの情報を得た。</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：株式会社 PHP研究所</li> <li>・日程：令和元年9月28日(土)</li> <li>・参加者：岩崎 千鶴、佐野 愛、今城 直也</li> <li>・研修名：教師研修</li> </ul> <p>本校の「社会人対応力」を育む「心の推進プロジェクト」に取り組む中で、株式会社 PHP研究所と連携している。本校は創立当初から心豊かな人材の育成に力を入れ、「心の教育」にも積極的に取り組んだ結果、1997年に日本初の「心の教育モデル校」の指定も受けた。PHPの編集長に本校にきていただき、教師に対して学生が社会人対応力を身に付けるためにはどのようにすべきか等、今までの経験から講演をしていただき、本校の心の教育に役立てるための教師研修である。</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：ウエディングビューティフルワールドワイド</li> <li>・日程：令和2年8月(日程未定)</li> <li>・参加者：佐野 愛</li> <li>・研修名：ブライダル現場の現状報告</li> </ul> <p>本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。今、現場に必要な知識を認識しながら、どう学生に学ばせる議論今後に活かす。各学校での問題点をシェア出来ることもこの研修の利点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：一般社団法人 全国専門学校教育研究会</li> <li>・日程：令和3年3月(日程未定)</li> <li>・参加者：今城 直也</li> <li>・研修名：新任教員基礎研修</li> </ul> <p>一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修は全国専門学校研究会に所属している専門学校の新任教員研修である。学生とのコミュニケーションの取り方、授業の展開方法を学ぶ。また、実践として模擬授業を行い評価、改善を行う。</p>

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	現在はありませぬ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
宮崎 栄一	株式会社 創明コンサルティング・ブレイン 代表取締役	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
仲田 錠二	株式会社ユニテッドサーブ 代表取締役	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
松本 武司	有限会社シルク 代表取締役	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	PTA
河原 秀明	医療法人創和会 しげい病院 医療支援部 総務課 課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
近藤 正晃	株式会社 ホテルグランヴィア岡山 総務部総務人事課 課長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
岡崎 多美子	学校法人 朝日学園 朝日塾幼稚園 教育アドバイザー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
磯谷 賢二	リコージャパン株式会社 中国事業本部岡山支社 アシスタントマネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
石橋 史恵	ウェブクリエイティブ株式会社 代表取締役	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
高松 聖	株式会社 スカイリンク 岡山制作部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
安田 正人	自衛隊香川地方協力本部東讃区隊長	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	地方公共団体等委員
畑 嘉昭	株式会社 トスコ 取締役	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )

URL:<http://www.oic-ok.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:[http://www.oic-ok.ac.jp](http://www.oic-ok.ac.jp/)

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス実務Ⅰ	社会人としての身だしなみから心構え、常識力を習得し、社会常識力の向上	1通	74	4	○			○		○		
○			ウェディングスペシャリスト実務	欧米のブライダル事情、専門知識を習得する。また自分の生き方を考えながら仕事スタイルを選べる様に、フリーランスビジネスを展開させる上で組織のまとめ方、人を動かす方法、メンタルパワーの強化方法を習得する。ウェディングスビューティフル検定取得	1通	78	4	○			○			○	
○			ウェディングプランナー実務	日本のブライダル事情を認識し専門知識を習得、活かした知識や研修マニュアルをもとに日本の企業において即戦力として活躍出来る人材育成を目的とする。ブライダルプロデューサー検定取得を目指す。	1通	25	1	○			○			○	
○			イベントプロデュースⅠ	どの業界でも必要となる発想力、考える力を養い、思いを形に出来る表現力の向上を図るとともに、業務の進め方として企画・運営に必要な企画書、予算書、会場見取り図、進行表など書類作成、そして組織で働くルールやマナーも同時に修得をする。	1前	75	4	△			○	○		○	
○			イベントプロデュースⅡ	前期で修得した知識を基盤とし、同じチームとしてより完成度を高めた商品開発に取り組みプロとしての認識を高める。集大成プロデュースでは自分たちの成長を発表し、これからの人生への決意をお世話になっている方々へご披露する。	1後	55	3	△			○	○		○	
○			ドレスコーディネーター実務	服飾の基礎知識の習得をする上で、婚礼衣装業務に関わる洋装・和装、貸衣装から美容、花に至るまでトータルビューティに関わる基礎知識を習得。ドレスコーディネーター検定取得を目指す。	1通	51	3	○			○			○	
○			ホテルビジネス基礎実務	ホテルビジネス実務検定（H検）を目指し、宿泊・料飲・宴会といったサービスオペレーションなどの、ホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得する。	1前	60	4	○			○			○	
○			ホテルビジネス管理実務	ホテルビジネス実務検定（H検）を目指し、マーケティング・総務人事・経理会計などのマネジメント業務などの、ホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得する。	1後	40	2	○			○			○	
○			接客サービス実務Ⅰ	サービス業に必要な相手を満足させる接客の提供方法を習得。サービス接客検定2級を目指す。	1通	50	3	○			○			○	
合計				科目	単位時間(時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			フォーラムメイクアップ演習	フォーラムメイクアップ・パリ校の基礎知識とTPOに合わせ、自分に合ったメイクの仕方を習得。就職活動にも生かす。フォーラムメイクアップ・ベーシックコース検定取得を目指す。	1通	69	4	△	○		○		○		
○			ホテル英会話 I	日常会話ができるように会話形式で行われる。	1通	25	1	△	○		○		○		
○			一般教養 I	文章読解・作成能力検定取得を目指すとともに、根拠に基づいた小論文などを作成するための思考力・表現力・判断力を育成する。	1通	50	3	○			○		○		
○			Word演習	オブジェクトや罫線など基本的な実技を習得し、ビジネス文書の作成をする。また、WORD文書処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得。	1前	30	2	△			○	○		○	
○			Excel演習 I	EXCEL表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、またプロデュースや卒業研究などパソコンを使用した作品作りに応用させる。	1後	20	1	△			○	○		○	
○			現場実習	業界内の企業で業務理解を深め、スタッフとしての動きを習得	1後	140	3				○	○			○
合計					15科目		単位時間(842時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス実務Ⅱ	実社会で求められるビジネスマナーについて	2通	89	4	○	△		○	○			
○			ビジネスマナー	冠婚葬祭のマナー・テーブルマナー・お茶の接待のマナー・上座下座についてなど、社会生活をしていく上での一般常識の習得	2通	32	2	○	△		○	○			
○			国際文化演習	グローバルな観点で多くの国や地域に触れる。国別の文化、風習、生活特性の考察、さらに宗教や思想等に係るブライダルスタイルを考える。	2後	28	2	○			○	○			
○			ブライダルプロデュースⅠ	イベントプロデュースを基盤とし、表現方法を結婚式演出で行う。専門知識として修得した海外・日本の結婚式スタイルを実践表現をする。	2前	131	4	△		○	○	○			
○			ブライダルプロデュースⅡ	前期で実践表現をし、結婚式を創り上げる基盤を作ったのち、後期では自分たちが大切にしてきたキーワードをテーマに個々で商品開発を行い、商品として選抜されたものを全体で結婚式演出として表現をする。	2後	130	4	△		○	○	○			
○			Excel演習Ⅱ	EXCEL表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、またプロデュースや卒業研究などパソコンを使用した作品作りに応用させる。	2前	36	2	△		○	○	○			
○			ユニバーサルサービス	全ての人に対して、平等な情報、円滑なコミュニケーション、快いサポートの提供のできる知識、技術の習得	2通	32	2	○	△		○	○			
○			プレゼンテーション演習	プロデュース、卒業研究、また実社会において必要なプレゼンテーション技法及びパワーポイントを学び、実践する。	2通	64	4	△		○	○	○			
○			ブライダル・コーディネータ	ブライダル学習の総まとめとして、BIA協会主催のブライダルコーディネータ技能検定(国家検定)を目指す知識の習得	2後	42	2	△	○		○	○			
合計				科目	単位時間(時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダルビューティ―演習	結婚式を行う新郎・新婦に必要なビューティ―実習。ヘア、ネイル、ハンドマッサージに至るまで実習。	2前	30	2			○	○			○	
○			接客サービス実務Ⅱ	マナー・プロトコール検定取得を目指し、日本人として社会人として必須の国際儀礼に関わる知識と技能を習得する。	2通	36	2	△	○		○		○		
○			一般教養Ⅱ	文章読解・作成能力検定取得を目指すとともに、根拠に基づいた小論文などを作成するための思考力・表現力・判断力を育成する。	2通	64	4	○			○		○		
○			フラワーアレンジメント演習	結婚式に必要な会場装花、ブーケ・ブートニア、ヘッドフラワー作成	2前	26	1	△		○	○				○
○			ホテル英会話Ⅱ	ホテル業務で使用される日常会話、専門用語を会話形式で習得	2通	30	2	△	○		○				○
○			ホテル語学	中国から来日するビジネスマンや観光客の増加に対応できる人材になるために、基本的な文法と読み書き、発音、会話を学ぶ。	2通	32	2	○			○				○
○			ホテル・ブライダル演習	ホテル実務技能認定試験上級を目指すとともに、一年次で初級を合格できていない学生のフォローをする。	2通	50	3	○			○		○		
○			ペン字	硬筆検定3級合格レベルの演習を行い、社会人として恥ずかしくない文字が書けることを目指す。	2前	15	1		○		○				○
○			親学	親としてすべきことを学び、さらに人としての成長を目指し、人間力を高めるライフデザインを学ぶ。	2後	15	1	○	△		○		○		
合計															
					科目	単位時間(時間)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業研究	挙式・披露宴について研究し、企画・運営するブライダルプロデュースの発表内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。	2後	28	1			○	○		○		
	○		ゲーム概論	面白さ・評価される物を、ゲームの歴史やグループワークを通して学習する。	2後	16	1	○	△		○		○		
	○		医療事務	保険制度のしくみを理解、保険請求業務の点数算定を学ぶ	2後	16	1	△	○		○		○		
	○		FP	FPについての基礎知識を学ぶ。ライフプランニングと資金計画、不動産、相続・事業承継、等々	2後	16	1	○			○		○		
	○		レイアウトデザイン	チラシや名刺などデザインするための基礎的な知識とセンスを身につける。	2後	16	1	△	○		○		○		
	○		HP動画	HPや動画を制作するための基礎的な知識やセンスを身につける。	2後	16	1				○		○		
	○		表現	幼児教育における5領域「表現」に基づき、身体を使った表現や造形表現活動を学ぶ。また、その活動を通して表現力を身に付ける。	2後	16	1	△	○		○		○		
	○		ロボット制御	人型のロボットを題材にプログラミングを行い、プログラムの思考力を養う。	2後	16	1	△	○		○		○		
	○		Excel実務	実務の場面を想定したExcelの使用方法について学習する。	2後	16	1	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科) 令和2年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		一般知能	数的推理・判断推理・資料解釈を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。	2後	16	1				○		○		
	○		健康管理	人体の仕組みと代表的な病気の予防について理解し、健康管理の基礎を学ぶ。	2後	16	1	○			○		○		
	○		ロジカルシンキング	グループワークやディスカッションを通じて、論理的思考に用いられるフレームワーク(考え方)を学ぶ。	2後	16	1	△	○		○		○		
	○		ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付ける。	2後	16	1	○	△		○				○
	○		ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形(行書体も含む)を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後	16	1	△	○		○				○
	○		応用文章技能	文章を書くための素材を集めるポイントや文章の構成などを講義するとともに、毎回、テーマに即した文章を書くこと(添削あり)を通じて、実践的な文章技能の習得を目指す。	2後	16	1		○		○		○		
	○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後	16	1	△	○		○				○
合計				20科目		単位時間(926時間)									
				総科目 35科目		総時間 1768時間									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
次の項目を全て満たすこと 必修35科目、総時間1768時間を履修すること WBW認定ウディングスペシャリスト、WBJ認定ウディングプランナー、WBJ認定ドレスコーディネーター、ホテル実務技能認定試験初級のうちいずれか1つ、及び出席率90%以上、科目の成績評価が全てC以上								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				15週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。